

次の100年に向け、持続可能な社会の実現のために サステナブル経営方針を新たに策定しました。

サステナブル経営方針

創業から300余年、私たちは社会とともに歩んできました。

「病気で苦しむ人を救いたい」という想いを実現するため、不可能とされていた革新的な新薬を次々と創出してきました。

私たちはこれからも、企業理念の実践を通じて人々の健康に貢献するとともに、責任ある事業活動を通して、持続可能な社会の実現に挑戦し続けます。

人々の健康への貢献

- 自社創業に加えて、世界のトップサイエンティストと協働して医薬品の研究開発に挑戦し、独創的かつ革新的な医薬品を安心・安全・適切に患者さんに提供することによって、世界の患者さんやその家族に多くの希望を届けます。
- エビデンスに基づいた次世代ヘルスケア事業によって、人々がより健やかに生活できる社会の実現に貢献します。

関連するSDGs



次世代への豊かな地球環境の保持

環境に対する社会的責任を強く認識し、地球環境にやさしい技術を積極的に取り入れ、取引先やパートナーとともに、次世代に豊かな地球環境を引き継ぐべく活動します。



いきいきと活躍できる社会の実現

事業活動を通じて、全ての人々の権利と多様性が尊重され、人々がいきいきと活躍できる社会の実現に貢献していきます。



透明性の高い強固な経営基盤の確立

コーポレート・ガバナンスを通じて強固な基盤を構築するとともに、コンプライアンスの強化やリスク管理を通じて、透明性の高い事業活動を行います。



次世代への豊かな地球環境の保持

当社は、革新的な医薬品の創製とともに、次世代への豊かな地球環境の保持に努めています。

事業活動を進めるにあたって、環境に対する企業の社会的責任を認識し、バリューチェーンにおけるすべての段階において環境に配慮した活動を行います。当社グループの環境マネジメントシステムのもと、目標と活動計画を設定し、適切に情報開示を行います。地球環境にやさしい科学技術を積極的に取り入れ、環境負荷の低減に努めます。



いきいきと活躍できる社会の実現

当社は、革新的な医薬品の創製とともに、人々がいきいきと活躍できる社会の実現に努めています。

当社は、あらゆる事業活動において、すべての人々の権利と多様性を尊重します。また、「企業は人なり」との考えのもと、多様な人材が失敗をおそれず個人の能力を最大限に発揮し、チームの力が結集

される社内環境を強化することによって、イノベーションの創出につながります。さらに、従業員の心身の健康と安全衛生への取り組みを推進します。



透明性の高い強固な経営の確立

当社は、革新的な医薬品の創製とともに、透明性の高い強固な経営の確立に努めています。

すべてのステークホルダーの信頼に応え、企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスを通じて強固な事業基盤を構築します。また、法令遵守はもとより、コンプライアンス体制の強化とともに、従業員一人ひとりがコンプライアンスリスクを抽出できる意識や創造力を持つことで、適切なリスク管理を行います。

さらに、ステークホルダーへの情報開示と充実した対話を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献します。

今後のグローバル展開などをも見据え、さらなる経営基盤の強化を図ります。

サステナブル経営方針の考え方

当社は、1717年(享保2年)に初代伏見屋市兵衛が大阪道修町に薬種商を創業して以来300余年、社会とともに歩んできました。時代が江戸から令和へと移行行くなかで「病に苦しむ人を救いたい」という想いを実現するために、「病氣と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念の実践を通じて世界中の人々の健康に貢献してきました。

1968年には独創的な創薬アプローチにより、不可能といわれていたプロスタグランジンの全化学合成に成功し、多くの医薬品を生み出し、2014年にはがん免疫療法分野で画期的な新薬、抗PD-1抗体

を世界に先駆けて上市するなどさまざまな挑戦を続けています。

さらに当社は、「オープンイノベーション」という言葉が盛んに使われるようになる以前から、他者との協業を積極的に進めてきました。これからも自社創業に加え、オープンイノベーションを最大限に活用して革新的な医薬品の創製を継続します。

今後も、当社は社会の一員として当社の存在意義を改めて理解し、「社会から必要とされる企業であり続けたい」という想いを胸に、責任ある事業活動を通して持続可能な社会の実現に挑戦し続けます。